

新聞の飛行機とべり夏座敷

服部 君江

【評】 夏座敷とは、襖や障子を取り外して風通しを良くしたり、室内を夏向きに装いにした座敷のこと。都市部などでは冷房器具を置いているため、感覚的な涼感を云う場合もある。

開け放たれた部屋で、子供が作った新聞紙の飛行機が飛んでいる。一機、二機と。大きな物もある。小さな物もある。子供は夏の子、汗を一杯に掻いた子供の生き生きとした姿がそこにある。躍動感ある子供と清涼感の充ちた夏の座敷。写生の佳句である。